

地域コミュニティの政策イノベーション能力(つなぐ力)開発研修

- 研修実施期間 2019年8月19日(月)～8月30日(金)
- 研修場所 原則として、政策研究大学院大学(東京都港区六本木7-22-1)において行います。
- 定員 20名程度
- 受講費用 60,000円(税込)(予定)
なお、宿泊される場合の宿泊費、大学や現地調査場所までの交通費は別途必要です。
- 出願期間 2019年4月8日(月)～6月7日(金)
選考結果通知 2019年6月14日(金)頃
- 出願方法 所定の申請書類のほかに、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
- お問い合わせ先 政策研究大学院大学
地域コミュニティの政策イノベーション能力(つなぐ力)開発研修事務局
担当教授: 高田寛文

[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] community-tsunagu@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040
[HPアドレス] <http://www3.grips.ac.jp/~community-tsunagu/>

■ 交通案内



本学にお越しになる際には、都営大江戸線六本木駅、東京メトロ日比谷線六本木駅、または、東京メトロ千代田線乃木坂駅をご利用ください。

2019 TRAINING
政策研究大学院大学

地域コミュニティの
政策イノベーション能力
(つなぐ力)開発研修

地域コミュニティの政策イノベーション能力（つなぐ力）開発研修

1 研修の趣旨・目的

近年、少子高齢化や人口減少、地域経済構造の変化等に伴い地域社会そのものの弱体化が進む中、それぞれの地域において、日々変化する諸課題に対応していくためには、従来の縦割りの行政組織を超えて、行政組織相互や行政と住民・NPO等、さらには住民とNPOなどを積極的にコーディネートし、現地の実情に即した課題の解決に導いていく人材の育成が不可欠です。

このため、本研修では、地域コミュニティが弱体化している現状を理解し、これらの課題解決に向けて、活用可能なコミュニティ施策等の全体像の把握とともに、具体的な地域課題に対する解決策の企画立案及び実践を可能とするスキルを身につけることを目的としています。研修の講師は、コミュニティ政策を専門とする大学教授・研究者やコミュニティ関連施策を担当する各中央省庁の職員のほか、地域活動のリーダーや先進的な自治体の首長・職員が務めます。また、本研修では、研修終了後も情報交換を行えるよう、研修生のネットワーク形成にも努めます。

*地域コミュニティの政策イノベーション能力(つなぐ力)とは、地域コミュニティの課題を解決するために、縦割り行政の壁を超え、行政と民間の垣根を超えて、新しい発想の下に、課題解決に必要な関係部局、関係団体等を結びつけながら、現場ニーズに対応して解決策を企画・立案、実践できる能力をいいます。

2 研修の対象者

市町村又は都道府県の職員を対象とします。コミュニティ政策の企画・実施にあたって中核的な役割を担うことが期待される者であれば、年齢・役職は問いません。なお、本研修の主たる対象は自治体職員ですが、地域コミュニティの課題解決に関心の高い地方議会議員やNPO等の職員も対象とします。

*2018年度の19名の参加者の内訳は、自治体19名(市町村:12名、都道府県:7名)でした。

3 研修の特徴

コミュニティ関連施策の網羅的な学習

地域コミュニティの課題に係る国の問題意識や考え方、具体的な政策・事業メニューについて、実例と併せて、直接中央省庁の政策立案・運用を担当する職員から講義を受けます。また、現場での活用面についても、直接意見交換をすることができ、実用性を重視した内容としています。

「つなぐ」ことで課題解決に導いた先進事例から実践スキルを学ぶ

各府省の政策・事業メニューを有機的に結びつけて活用することによって地域の課題解決に導いた具体的な事例を、現場の職員や地域活動リーダーからの生の声により、複数の分野にわたり多数学ぶことができます。

地域コミュニティに係る全方位的な学習と演習によるイノベーション能力の強化

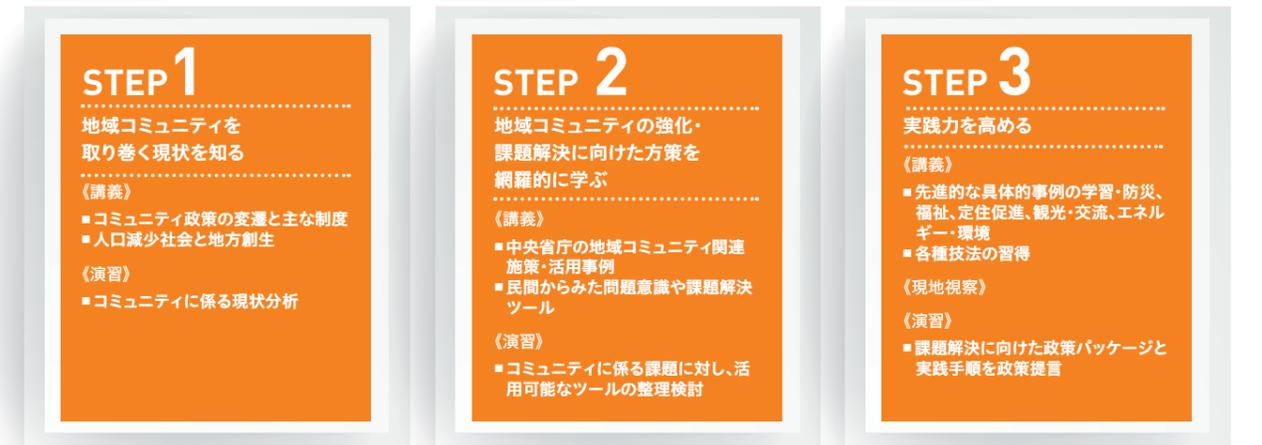
各府省の政策手段と、これらを結びつけ有効活用した事例を併せて学ぶことで、縦と横の双方から地域コミュニティに係る課題を捉えていき、総合力を養成します。与えられた課題に対して解決策の提案を行う演習を実施する中で、自らの政策イノベーション能力を開発・研鑽していくことができます。

全国自治体の職員との意見交換

同じ悩みを抱えている全国の自治体職員との意見交換を通じて、課題解決のアイデア・ノウハウを共有・ブラッシュアップすることができ、また研修終了後のネットワーク形成にもつながります。

4 研修の内容・進め方

本研修では、与えられたテーマに関する政策提案をとりまとめることを念頭に置きながら、講義・現地調査・グループ討議等のプログラムに参加していただきます。まず①地域コミュニティをとりまく現状を知り、その上で、②地域コミュニティの強化・課題解決に向けた各府省や民間の政策手段・ツールを網羅的に学びます。講義内容に対するグループ討議の時間も設け、インタラクティブな進め方で行います。これらを踏まえて、③各政策手段・ツールを組み合わせた具体的事例の学習や実践のための各種技法の習得を行います。研修日程の最後には、研修の冒頭で与えられたテーマに関する政策提案をグループで発表していただく予定です。このように講義と演習を組み合わせ、講義で学習した内容を、現場でいかに活用できるかを考え、一定の政策立案に結びつける能力を開発していきます。



地域コミュニティの政策イノベーション能力（つなぐ力）開発研修 時間割

[2018年度の時間割] ※2019年度は、2018年度の時間割を元に編成する予定です。決定次第ホームページに掲載します。

日付	1限(9:00-10:30)	2限(10:45-12:15)	3限(13:30-15:00)	4限(15:15-16:45)	5限(17:00-18:30)	
1 週 目	8/20	ガイダンス・自己紹介	演習課題の提示 (グループ顔合わせ)	人口減少社会と地方創生	ファシリテーションの技法	
	21	震災復興とコミュニティ	地域力の創造・地域の再生/ コミュニティと地域ICT振興 等	地域福祉/ 地域包括ケア 等	コミュニティ政策の変遷と 主な制度 講義に関するグループ討議	
	22	持続可能な 地域コミュニティの在り方	中小企業・商店街振興/ 地域イノベーション/ ソーシャルビジネス 等	コミュニティスクール/ 公民館振興 等	政策づくりのポイントと マネジメント 講義に関するグループ討議	
	23	地域づくりのプラット フォーム形成 (組織や人材育成のあり方)	農村集落の再生・活性化/ 担い手確保・集落営農 等	コンパクトシティ/ コミュニティ交通/ 小さな拠点・集落活性化 等	地域経済の発展と経済理論	講義に関するグループ討議
	24	先進的地域の実践事例: 「防災」でつなぐ	先進的地域の実践事例: 「まちづくり」でつなぐ	先進的地域の実践事例: 「コミュニティ・ビジネス」で つなぐ	演習課題に関するグループ討議 (現状分析・各省施策の活用可能性)	
2 週 目	27	先進的地域の実践事例: 「福祉」でつなぐ	先進的地域の実践事例: 「定住促進」でつなぐ	グループごとの課題研究	プレゼンテーションの技法 (企画案発表)	グループごとの課題研究
	28	先進的地域の実践事例: 「観光・交流」でつなぐ	先進的地域の実践事例: 「公民館」でつなぐ	先進的地域の実践事例: 「エネルギー・環境」でつなぐ	グループごとの課題研究	
	29	グループごとの課題研究		先進的地域の現地訪問		
	30	グループごとの課題研究				
	31	グループ課題発表会		まとめ・振り返りの ミーティング	修了式	